平成 30 年度　雇用支援ネットワーク部会活動計画

【目的】障がい者の企業への就職と職場定着をより一層進めていくための、関係機関による連携協力体制の構築を目指すことを目的とする。

【主な活動】

雇用支援ネットワーク部会（年 3 回）

個別支援委員会（毎月１回）

- 個別の就職準備性について支援課題を抽出し、協議検討する。
- ケース検討をふまえ、支援の視点、就業継続にむけた各関係機関の役割分担について協議していく。
- 在宅者、就労支援移行・A 型や B 型事業所、養護学校生徒の実習状況や準備状況について共有を行う。

企業開拓委員会（隔月１回）

- 圏域内の障がい者雇用を進めるため、新規企業開拓の促進とより多くの求職者の雇用マッチングをはかっていく。
- 関係機関のネットワーク体制の強化、雇用事業主に対する支援制度・支援体制の紹介。また圏域内企業に向けた雇用促進のための働きかけと検討を行う。
- 昨年度実施した「合理的配慮学習会」をふまえ、各関係機関における「合理的配慮」に対する実践の共有を行い、企業に向けた啓発活動を行っていく。

広報活動委員会（３ヶ月１回）

- 当圏域における障がい者雇用の現状を広く地域に発信し、知ってもらう。ローカル紙（2 紙）に月 1 回の記事掲載を行う。
- 引き続きテーマを「地域で働く障がい者」とし、在職されている方々と雇用企業の様子や、福祉的な就労の様子についても発信していく。